

望ましい営農型太陽光発電に関する検討会（第２回）
議事概要

1. 日 時 令和７年６月１０日（火）１４時～１６時

2. 場 所 農林水産技術会議委員室

3. 出席者

（委員）※敬称略

伊藤委員、稲垣委員、加藤委員、椿委員、馬上委員、土屋委員代理

※土屋委員代理は石井委員の代理出席

（農林水産省）

佐藤環境バイオマス政策課長、栗田再生可能エネルギー室長、千葉課長補佐

農村計画課永代課長補佐

4. 議事の概要

（１）前回発表した伊藤委員、椿委員を除く４人の委員からそれぞれ望ましい営農型太陽光発電について意見（資料１～４）。

（２）各委員の発表内容と第１回会議で検討することとされた品目、生産性、生産者、地域共生の各論点について意見交換を実施。

- ・令和６年のガイドライン等によって農地法上の規範は整備された一方、良いモデルの提示が必要。
- ・品目については食料安全保障の観点を踏まえれば食用作物とすることは重要。
- ・生産性について、水稻においては遮光による収量等への影響の知見が蓄積されつつあるものの、品種選択、栽培管理方法等については、継続的なデータの蓄積が重要。
- ・地域共生について、行政計画に位置付けられる設備は地域共生していると評価することもできるのではないかなど

（以上）